

## 9-3 鹿児島市における公共交通不便地活性化・再生総合事業

### 鹿児島市公共交通不便地総合連携計画の目標

公共交通不便地において、買い物・通院・通学・通勤など地域住民の日常生活の交通手段の確保を図るとともに、公共交通不便地毎に地理的特性や住民ニーズ等に配慮した交通手段の確保を目指す。

### 20年度事業の実施状況

#### 1. 事業の内容

##### 1) 公共交通不便地(3地域)におけるコミュニティバスの実証運行

- 運行期間 : H20.10.21~H21.3
- 運行地域 : 鹿児島市 吉野地域・谷山地域(下福元町北東エリア)・喜入地域
- 運行日 : 日曜日及び年末年始期間を除く毎日
- 運賃 : 150円均一(小人・未就学児・高齢者・障害者 割引有り)
- 運行事業者 : [吉野]南国交通(株)、[谷山・喜入]鹿児島交通(株)

##### 2) 車両デザイン



かごしま市コミュニティバス「あいばす」

##### 3) 専用バス停の設置



標識デザイン

### 鹿児島市公共交通不便地対策協議会

鹿児島市、南国交通(株)、鹿児島交通(株)、鹿児島市交通局、(社)鹿児島県バス協会、鹿児島市タクシー協会、各バス事業者労働組合、鹿児島県、鹿児島県警察、道路管理者、住民代表、学識経験者、[オブザーバー]鹿児島運輸支局

【事務局】鹿児島市交通政策課内 099-216-1113

##### 4) 周知広報用チラシ(時刻表)の作成・配布

あいばすのPRや利用促進を図るために時刻表を作成し、運行開始にあわせて沿線の町内会や施設等に配布。

#### 【表面】



#### 【裏面】

## 2. プロセス、創意工夫

■地域毎に地理的特性や住民ニーズ等を踏まえ、地域の主要な施設や交通結節点を結ぶ循環型あるいは往復型の路線を設定した。

■市民に愛着をもって利用していただけるよう、愛称を公募するとともに、バス車両及びバス停は専用のデザインとした。

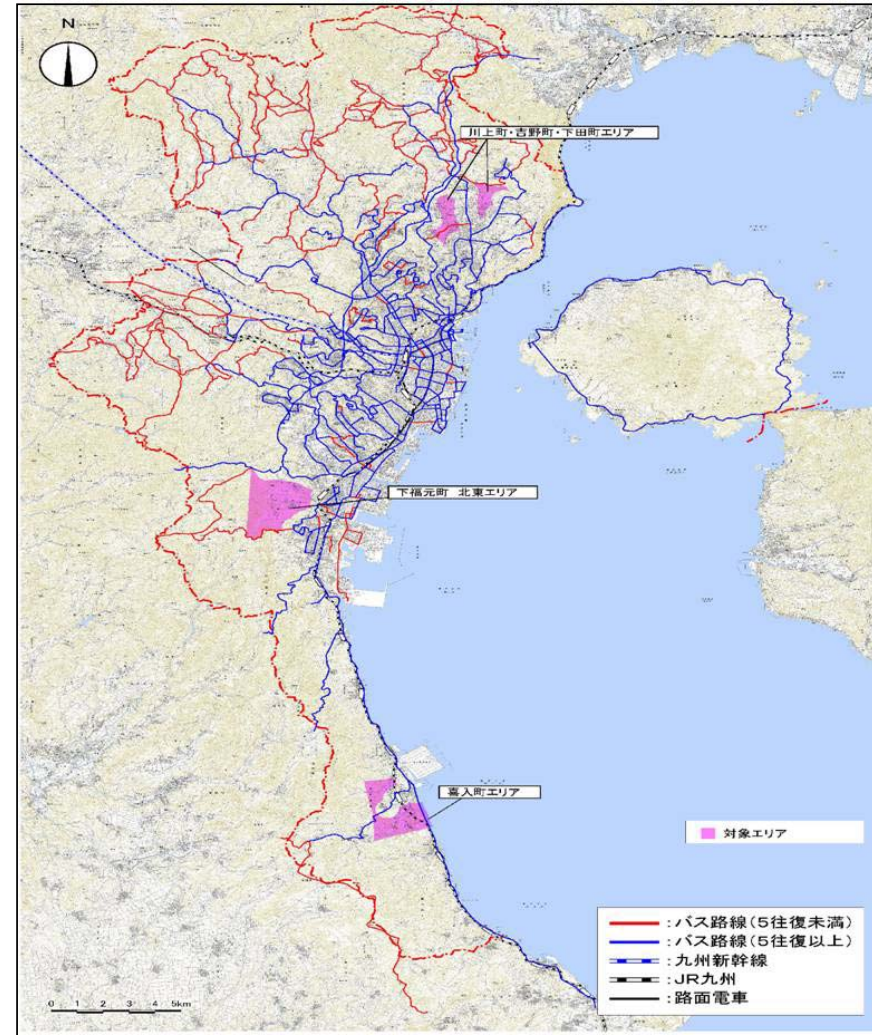
■利用促進に向けた取組みとしては、高齢者等への運賃補助制度を適用するとともに、運行開始前に、沿線の町内会や高齢者福祉施設等に時刻表を配布したほか、広報誌への掲載やTVスポットの放映など、周知広報を行っている。

■また、運行開始後においても、利用者からの要望等に応じたバス停の移動や車椅子で乗降可能なバス停の増設など早期に対応できるものに対応し、利便性の向上に努めている。

■今後においては、一定期間の利用実態を把握したうえで、事業継続に向けて必要な見直しを検討していく。

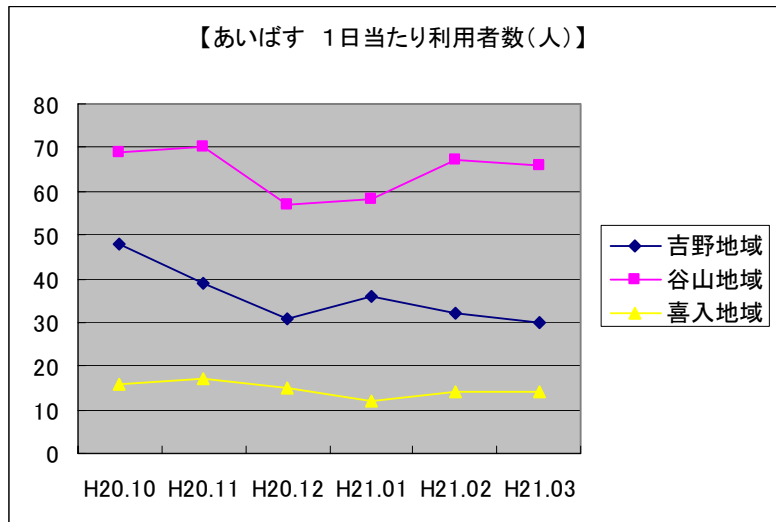
## 3. 事業費等 (単位: 千円)

■総事業費	23,566	●運賃収入	1,692
		●地域負担	11,656
		(市10,641、運行事業者1,015)	
		●総合事業費補助金	10,218



連携計画の区域(各地域の核となる対応策検討エリア)位置図

#### 4. 利用実績



#### 6. 今後の課題

- 周知広報によるコミュニティバス(あいばす)運行の浸透
- 利用実態を踏まえた運行内容見直しの検討
- 行政コストの抑制

#### 21・22年度の事業予定

- コミュニティバス(あいばす)実証運行の継続……………21年度・22年度
- 運行内容の見直しの検討……………21年度～22年度

#### 5. 事業実施効果

- 公共交通不便地を中心とした運行を行っており、便利になったとの声が多く、交通サービスにおける地域格差の是正に対する効果が見られる。
- (運行開始から間がなく、しばらく状況を見る必要はあるが、)地域毎の利用者数にばらつきはあるものの、地域の公共交通機関として、朝夕は通学等を中心に、日中は買い物や通院などに利用されている。
- 運行開始後、バス停の増設や運行ダイヤの見直しに関する要望が寄せられている。

